



2006 ~ 2007 年度
R I テーマ

LEAD THE WAY 率先しよう

国際ロータリー会長 ウィリアム B. ボイド (国籍・ニュージーランド)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ トキ八別府店 7F ぼたんの間
TEL 23-1111
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事 鳴海淳郎	理事 後藤 隆	役員 会 長 上妻 浩	S A A 木村きぬ
" 村津忠久	" 葉真寺草三	副会長 森 宗明	直前会長 平野英壽
" 溝部 仁		幹 事 近藤賢司	
" 梅津ヤヨイ		会 計 上妻 浩	

VOL . 19 - 29
2007年 2月 13日

第 854 回 例 会

会報委員長 津末美代子

点 鐘 12 : 30

R S 別府中央 R.C. の歌

唱 歌 雪山讃歌

B . G . M 哀しみのテス
愛しのクリスティーン
シバの女王
鏡の中のアンナ 他

ビジター 仲村健継 (大分 R C)

出席報告

衛藤 秀子

本 日 の 出 席	会 員 総 数	24 名
	出 席 者	14 名
	事前メイクアップ	1 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	1 名
席	欠 席 数	8 名
	出 席 率	60.87 %
前 々 回 の 訂 正	出 席 率	68.18 %
	事後メイクアップ	1 名
	理 事 会 承 認	1 名
	出 席 免 除	1 名
1/23	修 正 出 席 率	72.73 %

連 続 - 回
通 算 - 回 100 %

会長の時間 会長 上妻 浩

村津会員からも何回か紹介がありましたが、4月8日(日)の「鶴見岳一気登山」の前日4月7日(土)に別府市民合唱団による合唱組曲「別府鶴見火山」の初演を行ないます。作詞はご存知の方もいると思いますが、地元の故 佐々木均太郎先生です。作曲は佐藤眞先生という、当代有数の作曲家であります。クールあおやまの演奏会を聞いて頂いたことのある方は「蔵王」「旅」「土の歌」等ご記憶かと思ひます。特に「土の歌」のフィナーレ「大地讃頌」は市民合唱祭でもよく取り上げますので、聞いたことあるなと思ひの方もいると思ひます。「別府鶴見火山」は6曲からなる組曲で、1.湯けむり、2.山のいで湯、3.火祭り、4.一気登山、5.みずうみ、6.秀嶺賛歌で「一気登山」も入っています。ご存知の方も多いと思ひま

・メイクアップ

事前 村津(別府東)
事後 津末(別府東)
欠席 平野、椋田、河村、小川、津末、
後藤(孝)、高田、高宮

すが、一気登山というのは、海拔ゼロメートルのスパピーチから鶴見山の頂上まで下をくぐったりはしますが、自動車道を通らないで登る一大イベントです。我クラブが誇る社会奉仕「もみじ谷植樹」の場所も登山道の途中にあります。組曲「別府鶴見火山」も「一気登山」や「もみじ谷」と深い縁があるわけです。正真正銘の初演ですので、時間の許す方は是非聞きに来て下さい。



幹事報告

幹事 近藤 賢司

- 世界理解月間 -

1. 本日の卓話
『男と女Part』 大島由美子会員
2. 第8回定例理事・役員会報告
(平成19年2月6日(火) 13:40~
於: トキハ別府店例会場 11名)

報告事項

- 別府市内4RC会長・幹事会報告
(平成19年1月29日(月)ホテル白菊にて)
- 1) 「盲導犬チャリティーバザー(別府クリスマスHANABIファンタジア)」の報告
於: 別府スパビーチ
【12月23日】【12月24日】
- | | | |
|-------------|----------|----------|
| バザー売上げ | 130,198円 | 58,950円 |
| 盲導犬募金箱 | 33,407円 | 37,078円 |
| 【合計】 | | |
| バザー売上げ | 189,148円 | |
| 盲導犬募金箱 | 70,485円 | |
| バザー現金提供者 | 47,000円 | |
| | | 306,633円 |
- 2) ロータリー財団寄付の件。(玉ノ井博明ガバナーより)
 - 3) 別府市近隣7RC親睦ゴルフ大会開催の件。
開催日 平成19年5月27日(日)
ホスト 別府ロータリークラブ

審議事項

- 1) 拉致被害者家族支援義捐金(百円募金) お願いの件。
* 1人 100円×24名=2,400円
* 承認(スマイル資金より拠出)
- 2) 2007学年度米山奨学生の世話クラブ及びカウンセラーの件。
* 2007年度 新規奨学生11名、継続奨学生3名 合計14名 * 了解
* 当クラブのドプロボリスカヤ・アンナさんは、2007年3月で終了。
- 3) 「創立18周年記念例会」の件。* 承認
日時 平成19年3月27日(火)
場所 トキハ別府店例会場
内容 薬真寺章三会員のさよなら卓話
- 4) 2月・3月例会予定の確認
2月6日「感動経営とは何か」平野英壽会員
13日「男と女Part」大島由美子会員
20日「口の両用」村津忠久会員

- 27日「第3回クラブ協議会」
- 3月6日「自己紹介」高田由子会員
- 13日「私とロータリー」近藤賢司会員
- 20日「ゲスト卓話」
ドプロボリスカヤ・アンナさん
- 27日「創立18周年周年記念例会」
薬真寺章三会員

5) その他

次回理事・役員会にて、次期役員・理事の任命の細則について話し合う。
薬真寺章三会員転勤の為、次期副幹事の後任について話し合う。

- 3) 例会変更のお知らせ
大分城西RC 2月28日(水)の例会は国際交流会の為 同日18:30~龍華楼に時間・場所変更
- 4) 次週の予定(*原稿をお願い致します。)
『会員卓話』村津 忠久会員
『会員コラム』後藤 隆会員
- 5) 本日の回覧
2007-2008年度版「ロータリー手帳」希望購入
「第3回クラブ協議会(2月27日例会)出欠席
「べっぴん鶴見岳一気登山記録誌」申込み
- 6) 本日の配布
週報853号
「ロータリー国際理解と紛争解決」
鳴海淳郎R情報委員長より

スマイルボックス

委員長 後藤 孝弘

- 上妻会長
大島会員、本日の卓話よろしくお願ひします。
鳴海会員
溝部先生お帰りなさい。
後藤(隆)会員
仁ちゃん、お久しぶりです。仁ちゃんが会場にいるとたった一人でも、5~6人増えたような気がします。次週も待ってますよ!
森会員
仁先生お久しぶりです。オカエリナサイ!
来月初旬、2人目の孫(男子)誕生の予定ですが、名前を仁志に決めました。溝部先生、一字頂きます。
溝部会員
2月2日、退院後三度目の血液検査の結果、ヘモグロビンに含まれる糖質の割合が正常値になり



ました。長期間御心配をおかけしましたが、これから出席しますので、よろしく御願い致します。
葉真寺会員

溝部先生、久し振りに元気な様子を見て、うれしく安心いたしました。このクラブの柱の一人としてこれからも宜しく御願いいたします。
梅津会員

明日14日はバレンタインです。孫にゴディバのチョコレートと図書カードを買いました。ちゃんとホワイトデーにはお返しを贈ってきます。うれしいです。

大島由美子会員、卓話頑張ってネ...スマイル。
木村会員

溝部先生、病気回復おめでとうございます。よかったですね。又、先生のジョークが聞けるので、たのしみです。

大島さんの卓話、たのしみです。
大島会員

今日は私の卓話の日です。どうぞ皆様ぐっすりとお眠り下さい。

アッ！溝部先生、スマートになりましたね！
衛藤会員

先週は親類のお葬式の為、欠席しました。すみません。

先日、アンナさんにサザンクロス「外国の料理」と言う講座でロシア料理をして頂いてとても美味しく、講座生一同とても喜んで、又来てほしいと云っていました。ありがとうございました。

赤嶺会員

今日は久し振りに溝部先生のお顔を拝見でき、良かったです。

そして仲村様ようこそおいで下さいました。ごゆっくりなさって下さい。

村津会員

今日は東京に来ております。正午から午後3時頃までは、「天津日本中学校同窓会」。夕刻からは、4月7日フィルハーモニアホールで初演される「混声合唱とピアノのための組曲・別府鶴見火山」の楽譜出版に就いて、カワイ出版の担当者二名と懇談の予定です。ホームクラブ例会欠席をお詫びしてスマイル。

平野会員

今日は例会を欠席します。すみません。

大島さん、卓話頑張って下さいね。

亀井会員

溝部先生、お帰りなさい！先生のステキな

ファッションセンスをこれからも見せて下さい。今日の赤色のベスト、とってもお似合いです。これからもよろしく御願いします。

卓話

大島由美子

男と女 Part

こういう話を聞いた事があります。今小学校では、運動会の徒競走で最後は皆で仲良く手をつないで一緒にテープを切る...つまり一着二着という差をつけない...これが「平等」の精神の表れだということだそうです。私は考えさせられました。「過ぎたるは猶及ばざるが如し」といいますが、「平等」もここまで来るとあきらかに行き過ぎのような気がします。私は「機会（チャンス）の平等」は常に守られるべきだと思いますが「結果の平等」は時と場合によりけりだと思っております。先程の徒競走の例でいいますと、スタートラインは皆一線横並びで良いと思いますが、テープはやはり走りの速い人順に切るべきと考えます。足の速い人が偉くて遅い人は偉くない...そんな事はありません。運動の得意な人、美術の得意な人、音楽の得意な人、勉強の得意な人...それこそが個性であって、人それぞれの得意の分野を伸ばす事も学校教育の一つと考えるからです。どうも私達日本人は国民性でしょうか...何でも極端から極端に行く傾向がみられます。そこで「男と女パート」です。

昨今の今頃私は「バレンタインデー」にちなんで「男と女」という題で卓話をさせていただきました。本日そのパート ということ、今ちまたをにぎわしている柳沢大臣のご発言をふまえて「男と女」について皆様と共に考えてみたいと思います。去る1月27日島根県松江市で開かれた自民党県会議員の集会で、女性を機械（マシン）に例えて少子化問題を解説した...とマスコミに報道されました。さて具体的にどんな事をおっしゃったのか...ある新聞によると次のような要旨だったようです。読み上げます。

「今の女性軍が子供を一生の間にあまりたくさん産んでくれないということになっちゃった。人口統計学では、女性は15歳から50歳までが出産してくださる年齢ということなものだから、15歳から50歳の人の数を勘定すると大体分かるわけですね。もうほかから生まれようはない。急に男が『産む役』になるということとはできないわけだから。2030年ということになりますと、その2030年に例えば20歳になる人を考えると、今もう7、8歳になってなきゃいけないことになる（注＝柳沢氏の計算間違いと思われる）。2030



年に20歳で『頑張っで産むぞ』と言ってくれる人は、もう生まれちゃってる。そういうことで、産む機械と言っではなんだけど、装置がですね、もう数が決まっちゃってる。機械の数...機械というのは本当に申し訳ないんだけど、それが決まったとなると、あとは...機械って言ってごめんなさい、その産む役目の人が、ひとり頭で頑張ってもらわうしかないんです。」

皆様聞かれていかがでしょうか？この発言に関して私の思いを言わせていただければ「女性は産む機械」と発言した事は「性差別」だと問題視する意見と、「ひとり頭でがんばってもらわうしかない」と言った事に対して「少子化問題」を女性だけに押し付けるのかという反論の二つがマスコミ等に取り上げられているように思われます。そして後者「少子化問題」に関してはどうも論点がずれているように思います。なる程少子化を女性だけに押し付けるとなるとこれは問題ですが、柳沢発言の講演のテーマは「少子化」ではなく「これからの年金・福祉医療の展望について」というタイトルだったことから推測しますと、「年金を支えるためには人口を増やす必要があり、それには女性に産んでもらえるようにがんばってもらわうしかない」という事を言いたかったのではないかと思われます。少なくとも「少子化を解決する為に女性がひとり頭でがんばってもらわうしかない」という事を言っているのではないと思います。若者が老人を支えるという事が年金の基礎なのです。若者が増えなければ年金が破綻するのは火をみるより明らかです。厚生労働大臣としてやむにやまれぬ心情からつい過激な発言になったと言え、底意過ぎでしょうか？さて前者「女性は産む機械」発言です。確かに美しい国造りに邁進する「時の大臣」としては表現自体余り美しいとは思えません。しかしそれはそれとして柳沢さんは最初から「例えば悪くてごめんなさい」と何回も断って述べてるわけで、この表現を余り追求しても生産

性のある解決にはならないような気がしております。その後も民主党の皆さんなどの発言が又またマスコミから批判をうけている状況をみますと、どうも「言葉狩り」の様相を呈してきて議論が前向きに進んで行っていないような印象を受けております。国民特に女性の感性は正しいと思われるのは民主党・小沢一郎代表が「女性の抗議の声が大きくなると思っていたが、必ずしもそうではない」と嘆いた事からもうかがわれます。そう言えばあの田中真紀子さんが過去に「安倍晋三さんは種なしカボチャじゃないですか。種なしカボチャに何がわかるというの！」と言った事がありましたが、余り騒ぎになりませんでした。御本人が大臣ではなかったから？それとも女性代議士ならどんな発言をしても許されるの？などといふ考えたくもありません。

ここから「男と女」の事ですが、私は『男と女』を差別してはならないと思います。神様はこの二つの性に平等にそれぞれの役割を与えて下さいました。ですから常に男が上位で女は下位だなどと考えるはいけません。これこそが「男女平等」だと思います。しかし「男と女」の区別はしっかりつけておくべきだと思います。柳沢発言にもありましたが、「男の方に子供を産め」といってもどだい無理な話です。スポーツの世界では柔道でもマラソンでも男性と女性それぞれの大会が別々に行われます。女性がいかに頑張っても体力勝負では女は男にかないません。それで良いんだと思います。ところが話しは最初に戻りますが、極端から極端に行く国民性の故か、今ジェンダーフリー等といって、男女区別までダメだという意見が台頭しております。これは「区別」と「差別」とをごっちゃにしたまことに悪しき意見だと思っております。これからも「男と女」について様々な意見や発言があるうかと思っておりますが、それが「男女差別」なのか「男女区別」なのかをしっかりと見極めていきたいとこの柳沢発言から感じた次第です。

会員コラム

後藤 孝弘

牛丼店のマナーと不思議

まず店内にはいり、自分の椅子に向かう途中、歩きつつ「牛丼、並」と注文しなければなりません。お新香が欲しければ、「牛丼、並、お新香」とだけ叫べばよい。「...をください」とか「...をお願いします」などと余計なことをいってはならない。なぜかは目下研究中です。大部分の人は、名詞しか叫ばない。たまに、「牛丼の並をください」などという人もいることはいるが、こういう人はどういふわけか哀れな感じがするのです。また不思議

なのは、牛丼店で見ていると、みんな「視線を合わせないための工夫」をいろいろ試みているようです。牛丼が到着するまでの間、頬杖ついて天井の一角を放心の体で見つめる人、牛丼の鍋を見るときも見ていない人、手をかざして爪をじみじみ眺めるふりをする人など様々な演技を試みています。この間を有効に使って、割り箸を割って右手に持ち、構えの態勢に入る人も多い。僕としては、むしろこれをマナーとして採用したい。

次回は、後藤隆会員です。